

- 3月1日(月)～3月12日(金)までの間、鶴岡市の鼠ヶ関公民館にて「～東日本大震災から10年～ みなとのパネル展」を開催しています。
- 東日本大震災から10年という節目を迎え、震災の教訓を忘れず次の世代へと語り継いでいくため、災害発生時から施設復旧完了までの「みなと」の様子を紹介しています。
- 特に、鼠ヶ関港をはじめ、周辺地域は、2年前の令和元年6月に発生した山形県沖地震で被災した地域で、津波に備えて住民の約9割が避難しました。その半数が「東日本大震災」を思い起こして避難に至ったとのことです。 出典：東北大学災害科学国際研究所佐藤准教授「酒田市の津波防災を考える」講演資料
- 将来の災害に備えるために、ぜひ多くの方にご覧いただければと思います。

開催場所等の詳細はこちら⇒http://www.pa.thr.mlit.go.jp/sakata/press/pdf/press_20210224-2.pdf



パネル展の開催状況①



パネル展の開催状況②



パネル展の開催状況③